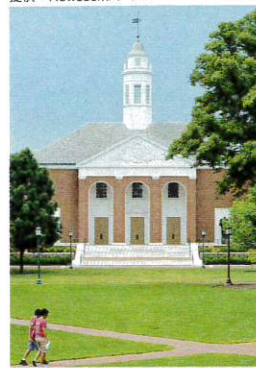


提供: Newscom/アフロ



1876年に設立された東部を代表する大学

米 国東部メリーランド州にあるジョンズ・ホプキンス大学。英QSの世界大学ランキング2020で世界24位だ。なかでも医学は世界5位。新型コロナウイルスの感染集計で世界が注目するなど、集団の健康分析を扱う「公衆衛生」で全米トップの

大学院を有する。同大学院は「ブルームバーグスクール」という名だが、これは民主党の大統領選に立候補したマイケル・ブルームバーグ氏（同大の卒業生）から多額の寄付を受け01年に改称した。コロナ集計以外にも同大が注目を集めた事件があった。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の動静だ。重篤説も出た同氏について、北朝鮮分析サイト「38ノース」が専用列車の位置を報じた。同サイトも同大の大学院が立ち上げた。

コロナ感染の集計で注目 ジョンズ・ホプキンス大とは？



「Education USA」は留学イベントを頻繁に開催

■米国の大学は多面的に判断 —出願に必要な書類などの例—

種類	内容
願書	基本情報。学問領域の受賞歴などを記入
英語能力試験	TOEFL
統一試験	SAT、ACT
成績証明書	高校の成績
エッセー	自身の経験や考え、信念について記述。複数の問いから現在の能力と将来の有望性を審査
課外活動	生徒会、ボランティア、部活動など学業以外の取り組みを見る
推薦状	高校の教師が主に執筆。第三者による信頼性を審査
インタビュー	卒業生による面接。英語能力の確認と人間性などを審査

(出所)取材を基に作成

エル大学はSTEM（科学、技術、工学、数学）を、英オックスフォード大学は人文科学分野を強化しようと資金を投じている。変わったところでは、世界ランキング・アジア1位のシンガポール国立大学の取り組みだ。「ライフロング・ラーニング」（生涯学習）に卒業生が取り組めるよう、オンラインを中心とした約600の講座を用意。費用はかかるものの、大学が持つ最先端の知を提供し、実践的なスキルを身に付けてもらうという狙いだ。海外大が日本の大学とは違ったさまざまな取り組みを続ける結果、2018年の日本人留学生数（1年以上、日本学生支援機構調べ）は2034人と5年前に比べて18%増えている。

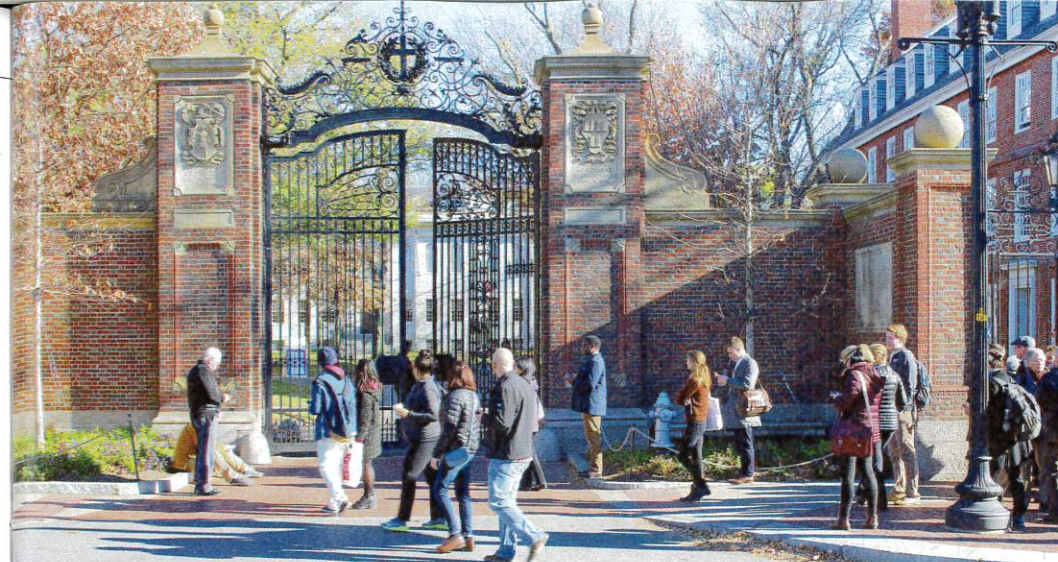
日本と違う出願の仕組み

ただし、海外大への進学は日本の受験と仕組みが違う。米大であれば共通の能力試験に加え、エッセーやインタビューが課され、「審査が進めば進むほどテストの点数ではない、数値化されにくい部分の比重が高くなる」（松永氏）。日本と違い筆記試験がなく、書類審査が重視される。多くの書類が必要なため（上表）、2〜3年かけて出願に備える例も多い。

なじみのない出願システムのため、海外受験指導の予備校などを使うと100万円ほどの費用がかかる。そこで公的なサービスを使い、費用を抑えるのも一つの手だ。例えば米国への留学を後押しする公的組織「Education USA」では、「オンラインや全日本で留学説明会を開催しているうえ、留学アドバイザーとの相談も受け付けている」（米国大使館広報・文化交流部のグレース・チョイ教育担当）。また英国の国際文化交流機関、ブリティッシュ・カウンシルでも「約50の大学が来日するイベントなど、大学と直接話せる機会を設けている」（エデュケーション・サービス・マネージャーのハル・バーカー氏）。さらに海外大生らが運営するNPO（民間の非営利組織）・留学フェローシップでは、現役の海外大生が全国を回り日本の中高生に海外大進学という選択肢を伝えるイベントを開催。「将来の進路を考えるきっかけにしてほしい」（代表理事の高島峻輔・ハーバード大生）と呼びかける。

進学、専攻という形で選択を繰り返し、将来と真剣に向き合う。自身がつねに問われ試される環境こそが、海外大で学ぶ魅力といえそう。

（林哲矢）



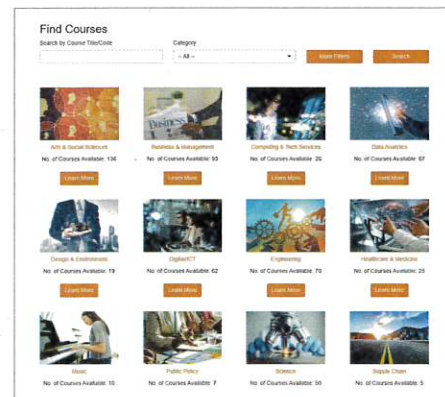
多くのノーベル賞受賞者を輩出するハーバード大学。近くにあるMITの授業を受ける学生も多い

「27 人中ゼロ」。これはベネッセが主催する海外大学進学向けコース「ルートH」で、海外大と東京大学の両方に受かった高校生のうち、東大に進学した人数だ。海外大といっても、世界ランキング上位にあるような米マサチューセッツ工科大学（MIT）や米プリンストン大学といったトップ校とは限らない。

ベネッセの大学社会人事業セクター長の藤井雅徳氏は、日本の高校生が海外大を選ぶ理由を「グローバルなレベルで最先端の教育を受けられるうえ、入学してから専攻を選ぶ柔軟さ」と指摘する。

リベラルアーツを標榜する米国の大学は、入学後に興味をのくままに自由に授業を選択できる。幅広い分野から自らの関心やキャリアを考え、専攻を絞っていく。例えばハーバード大学の場合、卒業後の学位は文系の「Bachelor of Arts」か理系の「Bachelor of Science」の2つのみ。学生は専攻を選ぶものの、専門は大学院からとされており、学部での柔軟性は日本の大学と段違いだ。

しかも複数の専攻を選ぶなど、「文理をまたいで分野を幅広く学べる。例えばAI（人工知能）の勉強をしたとなると、日本ではたいてい理工学部に進む。だが、海外大だとコンピュータサイエンスと教育学や政治学といった2



シンガポール国立大学はオンライン教育を強化

■最先端の研究と教育に力点 —主なトップ大学の取り組み—

大学名	事例
米マサチューセッツ工科 (1位)	AI関連の研究所を設置し教授陣を拡充。施設は2023年までに完成予定
米ハーバード (3位)	来春に工学大学院を移転・拡充。ビジネススクールとの修士プログラムも発足
英オックスフォード (4位)	「AIと社会」などをテーマにした人文科学のハブ施設を2024年にもオープン
シンガポール国立 (11位)	卒業生向けにVUCA時代に合わせた生涯教育のオンライン講座を提供
米イエール (17位)	300億円を投じ科学分野の施設を昨年秋にオープン

(注)カッコ内は英QS「世界大学ランキング2020」での順位 (出所)各大学の発表などを基に作成

海外大 日本の大学を引き離す 海外トップ大の魅力と実力

入学後に専攻を選ぶ柔軟さに、優秀な日本の高校生は引かれる。